



IOSCO/MR/21/2020

マドリード、2020年8月19日

IOSCOによる投資者教育促進のための世界投資者週間 2020 の開催について

証券監督者国際機構 (IOSCO) は、第四回世界投資者週間を新型コロナウイルス感染症の発生前に当初予定されていた通り、2020年10月5日から10月11日に開催する予定であることを公表した。また、参加者・団体向けに2020年版の世界投資者週間のキャンペーンウェブサイト(<http://www.worldinvestorweek.org>)も公開された。

IOSCOは、このような困難な時期に世界投資者週間を開催することを決定した。これまで以上に、世界の投資者や金融商品の消費者は、経済成長の不確実性が高まる中で、財務状況や投資を効率的に管理し、財務の回復力を強化していく必要がある。

この世界的なイニシアティブを促進するために、2020年の世界投資者週間は、各参加法域のニーズに対応している。各法域は、その選択により、完全なオンライン形式でキャンペーンを立ち上げることができる。パンデミックによるロジスティックな問題や他の固有の問題を考慮して、2020年の世界投資者週間は、金融・投資者教育を促進し、イベントのキーメッセージを広めるのに最適な10月もしくは11月のいずれかの週を選び開催することができる。

世界投資者週間はIOSCOが推進する1週間のグローバルなキャンペーンであり、投資者教育及び投資者保護の重要性に対する認識を高めることを目的とし、これら2つの重要な分野における証券当局の様々な活動に焦点を当てたものである。また、G20などの国際機関からの支援も受けている。六大大陸のIOSCOメンバーは、投資者に焦点を当てたコミュニケーションやサービスの提供、投資者教育のイニシアティブの認識を高めるためのコンテスト、ワークショップや会議、地域レベル・国レベルでのキャンペーンの開催など幅広い活動を行う。多くのメンバーは、一年を通して更なる投資者教育の啓発活動を行うべく世界投資者週間を活用している。

昨年の世界投資者週間のキーメッセージであるオンライン投資やICO、投資の基礎事項に加えて、世界投資者週間2020では、様々な法域でロックダウン中、遠隔でも学習でき

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS575.pdf>

メディアリリース



る機会として促進されていたデジタル学習やオンライン教育等の EdTech についても取り扱う。

2019 年は 89 の法域から、証券規制当局、証券取引所、国際機関、投資者協会、その他の IOSCO 関係者が1週間のキャンペーンに参加した。このイベントのキーメッセージは、報道機関や様々なオンラインツールを通じて 1 億 800 万人以上の人に伝えられ、今年も同様の効果を期待している。

アシュレー・オルダー-IOSCO 代表理事会議長兼香港証券先物委員会 CEO は、「全ての国で新型コロナウイルス感染症への対応が行われている中、第四回世界投資者週間を歓迎する。IOSCO 理事会を代表して、特にこのような大変な時期に、投資者教育と保護に対する意識を高めるために本イベントを支援してくれた IOSCO のメンバーとその関係者に感謝の意を表したい。」と述べた。

本取組みを支援する参加当局と国際機関についての詳細は、キャンペーンウェブサイト (<http://www.worldinvestorweek.org>) に記載されている。

NOTES TO THE EDITORS については省略。

NOTE: This media release is a translation of the original English-language version and its content has not been verified by the IOSCO General Secretariat. For the original, please see <https://www.iosco.org/news/pdf/IOSCONEWS575.pdf>